

県新人王へ「命を懸ける」郡山

選手名	学年	身長	出身中
富田航	②	165	郡山七引三
伊藤巧	②	173	郡山三三
神原真	②	173	郡山三三
菅野真	②	184	郡山三三
野塚透	②	176	郡山三三
部俊	②	173	行安二
宗像	②	175	行安二
岡部	②	162	行安二
神加	②	173	行安二
藤野	②	176	行安二
菅野	②	163	行安二
吉原	①	178	行安二
野尻	①	165	行安二
園斗	①	164	行安二
渡辺	①	175	行安二
高嶋	①	173	行安二
桑原	①	181	行安二

※背番の○数字は主将

私生活も大切に

○…遠藤監督が郡山に就任して以来、コート外で目標として「みんなに支えられるチームになる」が掲げられた。授業度はもちろん、靴をそろえる、あいさつする。そして、他会場でも椅子をそろえたり、トイレのリッパなどを並べるなど。富田主将は「勉強をやるそかにせずバスケットをやっていきたい」と話した。



チームをけん引する富田主将（右）



過去2年は3位
3年連続で県南地区を制した郡山の過去2年の県新人戦はいずれも3位。だが、今年は優勝への思いが高まる。昨春、15年ぶりの2回目の県新人王を狙う郡山

大目標は夏の高校総体出場。一県新人戦で優勝して東北大会に出場し、夏につなげられる試合をしたい」と富田主将。15年ぶりの県新人王へ、郡山が「一懸命」に戦う。

15年ぶり頂点へ
先発の平均身長は174・2センチで昨年より3センチ以上も低い。指揮官は「小柄なので、当たり負けのない体づくり、ディフェンスを強化した」と1対1練習に時間をかけ、筋トレも週4回に増やした。地道な練習を積み重ねて、石塚は攻撃の幅を広げた。「今まで相手ディフェンスを回避してきたが、相手を引きつけて自分でシュートしたり、自分が引きつけ、仲間に決めてもらうようになった」。チーム最長身の184センチで得点の3分の1を量産する菅野透は「チームの中心となって内外から得点します」と誓った。

体育教諭として郡山に就任し、監督に就任した遠藤心平監督(32)は同校OBで、03年県新人戦で初優勝した時の主将。「一懸命」戦えと話している。自分の輝ける部分に誇りを持って命を懸けるとい。松岡修造氏(51)は「熱い言葉で、県制覇を目標にする。」